

氏名	杉原 祚夫
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙 第180号
学位授与の日付	昭和41年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	抑圧に関する研究 第1報 偏光四点計による抑圧測定 第2報 偏光四点計による抑圧観察 第3報 弱視における抑圧頻度について 第4報 抑圧と弱視療育成績との関係について
論文審査委員	教授 奥田 観士 教授 西田 勇 教授 福原 武

学位論文内容の要旨

両眼視機能の一つである抑圧現象究明の目的で、偏光フィルターを利用した偏光四点計を試作した。偏光四点計は、抑圧状態をグラフに示す事が出来る為、従来用いられて来た Worth 氏四点計と異り、定性のみならず、抑圧深度の定量が可能で本装置により得たグラフにより抑圧現象を5つの型に分類し検討を加えた。更に、弱視患者243例について、抑圧発現状態を他の方法と比較し、本装置は従来のものと異り、抑圧現象の研究に一つの新しい方法を加えたことを示した。又、抑圧状態は、弱視療育成績と密接な関係を有し、その予後判定に重要な因子の一つである事が認められた。

第1報：昭和37年2月臨床眼科第16巻第2号に掲載

第2報：昭和37年2月日本眼科紀要第13巻第1号に掲載

第3報：昭和37年6月日本眼科紀要第13巻第5号に掲載

第4報：昭和37年9月日本眼科紀要第13巻第8号に掲載

論文審査の結果の要旨

杉原祚夫提出の「抑圧に関する研究」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は次の通りである。

両眼視機能の障害の一つである抑圧現象究明の目的で偏光フィルターを利用した偏光四点計を試作した。これにより抑圧の状能を一つのグラフに表わすことが出来るので定量的検査法であり，本法を用いれば抑圧現象を5型に分類し得ることを発見した。弱視患者につき従来の検査法と比較検討して本法が従来の定性的検査よりも優れていること，更にこの検査が斜視，弱視の診断，治療に重要な指針を与えるものであることを示した。

以上の通り本論文は新しい知見に富み，学術上有益であり著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有するものと認める。